

Ⅱ 令和7年度 学校経営方針

1 教育目標

なかよく たのしく たくましく

2 本校の基本理念

「共生の理念」

誰もが互いの人格と個性を尊重し、支え合う共生社会の実現を目指し、障がいのある者も障がいのない者も一つの学舎の中で、相互に学び合い、認め合い、高め合う教育の機会と場を十分に保障していく。

3 本校に託されている夢

- 共生、共学の理念を、地域においても具現化すること
- 地域の特別支援教育の推進役となり、小中学校における充実を図ること

4 目標実現の基本方針及び重点指導事項

○なかよく…「ハロー」

同年代や異学年との関わりから地域の人たちとの関わりへと、人間関係を発達段階に応じて広げていく。

<重点指導事項>

- ・あいさつの習慣化
- ・小・中学部連携による交流学习の計画的な取組
- ・十日町小や他校との交流及び共同学習の充実及び「共生の理念」の理解推進

○たのしく…「レッツ・エンジョイ」

十日町・津南地域の人・もの・ことと関わり、豊かな経験を積み重ねることにより、将来に必要な知識技能を身に付け、自分への自信を深めていく。

<重点指導事項>

- ・生活が潤うための発達段階に応じた知識技能の習得
- ・生活年齢に応じた豊かな体験の充実
- ・ふるさと学習や地域を教室にした学習の充実及び「共生の理念」の理解推進

○たくましく…「レッツ・チャレンジ」

身近な人や生まれ育った地域のために、自分のできることを考え仲間や地域の人と実行することにより、学校や地域での生活の充実に貢献し、自己有用感を高める。

<重点指導事項>

- ・基本的な生活習慣の確立（助けを求めながらも、自分のことは自分でする）
- ・仲間や地域の人と一緒に考え、主体的に学ぶ体験の充実
- ・「人のため、地域のため」を考えた学習の計画的な取組

5 目指す学校の姿

□これまでの共生の理念に基づく教育を「継続」しつつ、新たな教育に「挑戦」する学校（具体的な姿）

- ・共生の理念を十日町・津南地域全体に広げていく。
- ・まわりの人のために、生まれ育った地域のために尽くす。
- ・誰にとっても、住みやすく、暮らしやすい地域にしていこう。

□いつでも、誰とでも働きたくなる学校

(具体的な姿)

- ・一人一人の強みや弱さを共有し、信頼関係のある居心地のよい職場環境である。
- ・互いに気軽にコミュニケーションがとれ、共通の目標を持って仕事ができる。
- ・互いの指導方法や教育観を大切にし、自分がやりたいと思う授業ができる。

□夢を一緒に見つけ、育てる学校

(具体的な姿)

- ・「大人になったら〇〇になる」という夢をどの子どもも抱くことができる。
- ・卒業してもいろいろな人とつながり、将来の生活に明るい展望が抱くことができる。
- ・地域の方々が、本校と関わることが楽しくやりがいを感じるができる。

6 「共生の理念」に基づく教育活動の取組方針

- (1) 小学部段階を中心に、十日町小学校や居住地校との交流及び共同学習を中心とした同年代や異学年の児童生徒と関わりによって、対人関係を築く力や他者とコミュニケーションを行う力を育成します。
- (2) 小学部高学年ごろから中学部にかけて、対人関係を築く力やコミュニケーション能力を生かし、生まれ育った十日町・津南地域の人たちとかかわり、自然や文化など地域の魅力を発見して発信し、地域の発展に貢献しようとする力を育成します。
- (3) 小学部と中学部が交流学習を積極的に取り組んでいきます。そして、仲間のために、後輩のために考えて行動することで、人の役に立ったり人から感謝されたりする経験を積み重ねて自己有用感を育み、高めていきます。

このように「共生の理念」に基づき、「校内から地域へ」、そして「同年代や異学年の児童生徒とのかかわりを主とした教育から、生まれ育った十日町・津南地域の「ヒト・モノ・コト」とのかかわりに重点を置いた教育へ」と実践することを基本方針としています。

本校の教育実践は、障がいのある人たちのことを知り、関わり方を知ること、地域の人たちの障がいに対する意識を変え、今と将来の地域づくりにつながっている」という意識を職員全員が今よりも高く持ち、「共生の理念」に基づく教育を推進していきます。このことを今後の本校の役割と考え、新たな「学校づくり」に挑戦していこうと考えていきます。

本校の教育活動

